

愛知県環境局の令和3年度主要事業等について

令和3年3月
あいち環境づくり推進協議会

あいち地球温暖化防止戦略2030を推進します

予算額 182,939千円

環境局地球温暖化対策課
調整・企画グループ、温暖化対策グループ
内線 3032・3055
(ダイヤル)052-954-6213

「あいち地球温暖化防止戦略2030」の目標である2030年度における温室効果ガス排出量の26%削減(2013年度比)の実現に向け、一層の地球温暖化対策を推進します。

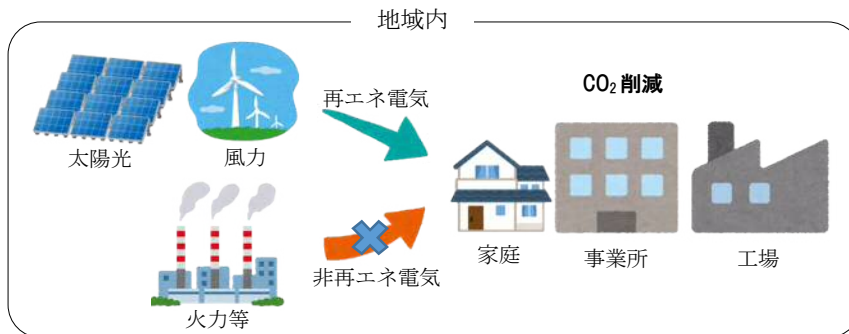
1 あいち地球温暖化防止戦略推進費 34,530千円

温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」及び気候変動による影響に対処する「適応策」の取組を支援します。

- ・地球温暖化対策計画書制度に基づく、事業者の対策に対する現地調査・助言
- ・中小事業者等に対する省エネ相談などの総合的支援
- ・市町村の地球温暖化対策に係る実行計画の策定支援
- ・再生可能エネルギー地産地消^{*}に向けたフィージビリティ・スタディ(事業化検討)調査
- ・気候変動の影響や適応に関する情報の収集・発信

※再生可能エネルギー地産地消

太陽光、風力、ごみ発電(バイオマス)などの再エネを地域内で生産・調達・利用すること



2 温暖化防止県民運動推進事業費 8,409千円

低炭素型の生活様式への転換を促す「あいちクールチョイス」県民運動を市町村等と一体となって拡大します。

- ・小学生とその家族を対象にチェックシートを活用した環境配慮行動の実践を促進
- ・省エネ家電への買換促進
- ・市町村開催のイベントへのブース出展や小学生向けの出前講座の開催



3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金

140,000千円

環境に配慮した住宅(スマートハウス、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス))の普及を図るため、太陽光発電、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)などの一体的導入等に対して、市町村との協調により補助を行います。



次世代自動車の普及を促進します

予算額 343,833千円

環境局地球温暖化対策課
自動車環境グループ
内線 3037・3091
(ダイヤル)052-954-6217

電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）を始めとする次世代自動車の普及を促進します。

1 戦略推進費

688千円

「あいち自動車環境戦略」に基づき、大気環境基準を確保するため、EV、PHV及びFCVを始めとする次世代自動車の普及促進に向けた啓発事業等を進めます。

2 次世代自動車普及促進事業費

13,960千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」（設立：2009年4月 構成員：自動車メーカー等93団体）の参加者と協働して、EV・PHVの普及に取り組みます。

また、EV等の魅力・有用性を広く浸透させるため、市町村等がEV等の給電機能を効果的に活用する実践の場を提供するとともに、その成果等を発信するフォーラムを開催します。

さらに、EV、PHV及びFCVの自動車税課税免除の期限を2022年度末まで2年間延長します。

3 先進環境対応公用車導入費

62,453千円

環境性能に優れた自動車を公用車に導入します。



電気自動車（EV）



プラグインハイブリッド自動車（PHV）

4 先進環境対応自動車導入促進費補助金

266,732千円

旅客・貨物運送事業者や中小企業等の事業者に対し、EV、PHV、FCV、ハイブリッド自動車（HV）のユニバーサルデザインタクシー等の次世代自動車を導入する経費の一部を補助します。



燃料電池自動車（FCV）

生物多様性保全に関する取組を推進します

予算額 51,629千円

環境局環境政策部
自然環境課
生物多様性保全グループ、国際連携・生態系グループ
内線 3096・3065
(ダイヤル)052-954-6475

次期あいち生物多様性戦略（2021年2月策定予定）に基づき、SDGsの取組の一環として多様な主体との連携をさらに進め、県内の生物多様性保全の取組を一層活性化します。

また、次期世界目標が採択されるCOP15に参加し、世界のサブナショナル政府（州・県レベルの広域自治体）と連携して、世界の生物多様性保全の取組活性化に貢献します。

1 生物多様性SDGs推進費

15,526千円

- 県内の大学生を中心としたユース組織による生物多様性保全活動を促進するとともに、情報発信を行います。また、多様な世代や主体が交流し、取組の方向性を共有するための多世代フォーラムを開催します。
- 企業とNPOのマッチングにより、生物多様性保全に係る活動を促進します。
- 生物多様性に関わる県民、NPO、企業等に必要な情報を発信・共有し、新たな活動の創出や活性化に資することができるプラットフォーム（データベース・Webページ）を構築します。
- 専門家や企業等との協働により、湿地・里山における希少な野生生物の生息・生育環境を保全する「湿地・里山ネットワーク」の形成に向けたモデル事業を実施します。

2 生物多様性国際連携推進事業費

36,103千円

- 中国で開催予定のCOP15において、愛知県が中心となり立ち上げた「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合※」のメンバーやその他のサブナショナル政府とともに、共同宣言やサイドイベント等を実施します。

※愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合（2016年8月設立）

<構成> 愛知県、メキシコ州政府連合、カンペチェ州（メキシコ）、カタルーニャ州（スペイン）、
カンウォンド
江原道（韓国）、江蘇省（中国）、オンタリオ州（カナダ）、ケベック州（カナダ）、サンパウロ州（ブラジル）



COP14 時の共同声明発表

- 本県と環境分野に係る協定等を結んでいるブラジル・サンパウロ州との連携により、学生交流プログラムを実施します。

循環型社会の形成に向けた取組を推進します

予算額 474,061千円

とりまとめ
環境局資源循環推進課
循環グループ
内線 3074・3075
(ダイヤル)052-954-6233

「あいち地域循環圏形成プラン」に基づき、新たな広域循環モデルの具体化を図るとともに、社会的な課題となっているプラスチックごみや食品ロスの削減に向けた取組を推進します。

また、公共用水域の水質改善に向けて単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を促進します。

1 循環型社会形成の推進 342,451千円

○ 次期あいち地域循環圏形成プランの策定

プラスチックを循環利用する新たなビジネスモデルの構築を目指し、次期「あいち地域循環圏形成プラン」を策定します。

○ あいち地域循環圏形成プランの推進

新たな循環ビジネスの発掘、事業化から円滑な事業継続までを一貫して支援します。

- ・「地域循環圏づくり推進チーム」による新たな広域循環モデルの具体化
- ・循環ビジネス事業化検討や、先導的で効果的なりサイクル施設等整備に対する補助

2 プラスチックごみ削減に向けた取組 9,488千円

「あいちプラスチックごみゼロ宣言」を踏まえ、県民・事業者の行動を促すため、オンラインセミナー等による普及啓発を実施します。

3 食品ロス削減対策 17,466千円

県民や事業者による食品ロス発生抑制の取組を推進します。

- ・食品ロスの削減に向けた取組を総合的に進めるため、「食品ロス削減推進計画」を策定（新規）
- ・県民や事業者を対象とした有識者による講演やブース出展などを行うイベントの開催
- ・小学生を対象とした環境学習プログラムによる普及啓発



4 合併処理浄化槽への転換促進 104,656千円

浄化槽設置費補助金により、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を一層促進するため、公共浄化槽設置に対する補助を新たに補助メニューに追加します。

「環境首都あいち」を支える人づくりを推進します

予算額 69,631千円

とりまとめ
環境局環境政策部
環境活動推進課
環境学習グループ 内線3027・3028
(ダイヤル)052-954-6208

「環境首都あいち」の実現に向け、多様な主体との連携・協働により各世代に応じた環境学習を実施し、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」を地域全体で推進します。

【未就学児童】

インタープリター自然体感推進事業
11,447千円

「もりの学舎」での自然体感プログラムの提供や、幼稚園や環境学習施設での自然体験普及のための指導者研修の実施

- ・ もりの学舎ようちえん
- ・ 一日もりの学舎ようちえん
- ・ 森の伝道師派遣
- ・ 保育士・施設職員への研修

【小中学生、中高齢・シニア】

環境学習等行動計画推進事業
35,043千円

「あいち環境学習プラザ」等において、施設の特徴（体験型展示やZEB施設の見学）を生かした環境学習の実施

- ・ 小学校等の社会見学に対応した環境学習
- ・ あいちecoティーチャーによる環境学習講座
- ・ もりの学舎キッズクラブ



【高校生】

高校生環境学習推進事業
6,453千円

「あいちの未来クリエイト部」による地域の環境についての調査・研究や、研究成果の普及・発信

- ・ 専門家等と連携した調査・研究
- ・ 参加校による活動報告会の開催
- ・ 県民向け普及啓発資料の作成

【大学生】

持続可能な未来の
あいちの担い手育成事業
9,576千円

「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」により、企業と連携して行う、次世代の担い手となる環境リーダーの育成

- ・ 企業での研究活動
- ・ 成果発表会の開催
- ・ 研究所活動の発信

【社会人】

あいち環境塾実施事業
7,112千円

企業・団体・行政など、各分野で活躍する持続可能な地域づくりの環境リーダーの育成

- ・ 人材育成講座、成果発表会の開催
- ・ 体験講座の開催
- ・ 地域実践活動の実施（卒塾生対象）



SDGs 未来都市あいちを推進します

予算額 114,102千円

とりまとめ
政策企画局企画課
企画第二グループ
内線 2258・2294
(ダイヤル)052-954-6089

愛知県は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています

SDGs 未来都市あいちを推進するため、SDGs 推進フェアやSDGs 関連国際会議を開催・支援するとともに、企業等や若者向けの一層の普及啓発を行い、県内へのSDGsの普及・浸透を図ります。

1 「SDGs AICHI EXPO 2021」の開催（環境局）34,598千円

SDGsに積極的に取り組む企業・大学・高校・NPO等の約100ブースの出展による取組発信とともに、講演等の実施によりSDGs達成に向けた変革を促進します。

- ・時期：2021年秋
- ・会場：愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」

※ SDGs 関連国際会議と同時開催

4 SDGs 関連国際会議の支援（政策企画局）

50,000千円（新規）

国連地域開発センター、環境省、国土交通省が主催するSDGs 関連国際会議の支援を通して、本県におけるSDGsの実現に向けた取組を国内外にPRします。

- ・時期：2021年秋
- ・会場：愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」

2 SDGs 環境プラットフォームの構築（環境局）

11,824千円（新規）

環境・経済・社会の統合的向上を図るため、企業等の先進・優良取組の事例調査及びデータベース構築に向けた設計等を行い、新規の取組創出や活性化を促進します。

3 生物多様性SDGsの推進（環境局） 15,526千円

SDGsの理念を踏まえ、ユースによる保全活動や情報発信、NPOと企業とのマッチング等により、多様な主体の連携による生態系保全活動を促進します。

5 企業等や若者向けの普及啓発（政策企画局）2,154千円

◆大学生と連携した先進・優良取組事例集の作成

企業等の先進・優良取組事例集を作成します。大学生が取材し執筆することで、若者の理解向上にもつなげます。

◆普及セミナーの開催

県内各地で企業等向けのセミナーを開催します。

◆教員向けワークショップの開催

高校生・中学生へのSDGsの普及につなげるため、高校・中学校の教員を対象としたワークショップを開催します。

「あいち森と緑づくり税」を活用し、森と緑を育み、 守る取組を推進します

予算額 2, 807, 551千円

とりまとめ
農林基盤局林務部森林保全課
森と緑づくり推進室 森林里山再生グループ
内線 3770・3771
(ダイヤル) 052-954-6455

「あいち森と緑づくり税」を活用し、森林、里山林及び都市の緑の整備・保全を進め、森と緑の持つ様々な公益的機能を発揮させます。

1 森林整備事業費(農林基盤局) 2, 014, 111千円

- ・ 林業活動では整備が困難な森林の間伐
- ・ 高齢化した人工林の若返りとして、少花粉苗への植え替え及び獣害対策等の支援
- ・ 地域住民、団体等による保全活用を前提とした里山林の整備への支援
- ・ 里山林の保全・活用に必要な人材の育成



人工林の間伐

里山林の整備

【森林整備】

2 都市緑化推進事業費(都市・交通局) 667, 242千円

- ・ 都市における身近な樹林地の保全、緑地の創出
- ・ 民有地の緑化、民有樹林地の活用及び美しい並木道の再生
- ・ 県民参加による樹林地整備や植樹等の体験学習、緑づくり活動及び都市緑化の普及啓発の支援



【都市緑化】

3 環境活動・学習推進事業費(環境局) 73, 115千円

- ・ NPO 等が行う環境保全活動や環境学習への支援
- ・ 生態系ネットワーク形成のためのビオトープ創出等の取組の支援



【環境学習等】

4 事業推進費(農林基盤局) 53, 083千円

- ・ 県産木材を利用したPR効果の高い民間施設等への支援
- ・ 学校の樹木を活用した森林づくりの体験活動を支援
- ・ 森と緑づくり事業の普及啓発



県産木材利用への支援

【事業推進】

● 講座のご案内



卒業生地域実践活動 卒業生がまちづくり、環境保全、環境教育などの地域の課題を発掘し、解決に向けて行う実践活動への支援も実施しています。

■ 開催日 2021年6月5日(土)～2021年11月27日(土)までの間の13日間 ※詳細はカリキュラムをご覧ください。

■ 募集期間 2021年3月8日(月)～5月10日(月)

■ 講座プログラム

開講式、オリエンテーション	6月5日(土)
講義、講師との懇談	6月19日(土)～11月13日(土)のうち10回 午前/環境分野で活躍する講師による講義 午後/講師との自由な意見交換
チーム活動、研究活動	7月3日(土)～11月13日(土)のうち9回 チームでの「20年後の未来社会へ向けての環境に関する政策やビジネスモデル」づくり(基礎コース) 自ら環境活動やビジネスを実践していくための研究(中級コース) 環境活動やビジネスなど実践活動のトライアル(アドバンスコース)
企業講演会及び卒業生との懇談	9月18日(土)
発表会・修了式	11月27日(土)午後 活動成果を発表
成果物	報告書: 活動成果を報告書にまとめます(基礎コース・中級コース・アドバンスコース) パネル: 活動成果を1枚のパネルにまとめます(基礎コース)

※原則、全日程に参加して修了となりますので、出席日数等により修了証書をお渡しできない場合がございます。

■ 各コースの参加にあたって

	基礎コース	中級コース	アドバンスコース
参加費	55,000円(税込)	20,000円(税込)	10,000円(税込)
募集対象者	県内の企業、大学、行政機関等に所属されている方などで概ね60歳くらいまでの方(原則、全日程参加できる方)	基礎コース修了者	中級コース修了者
定員	20名	5名	若干名

■ 申込方法

以下のURL又はQRコードから申込フォームにアクセスしていただき、所属、氏名、応募動機など必要事項を入力しお申込みください。

※定員を超えた場合は申込フォームの記載内容に基づき選考させていただきます。

<https://www.nisri.jp/chc/gathering-form.html>



■ 参加へのお願い事項

- 受講前の検温や手指のアルコール消毒、受講時のマスクの着用(各自で用意)等にご協力をお願いします。
- コロナウィルスの影響により、Web受講(Zoom)となる可能性があります。Webが利用できるノートパソコン等を各自ご用意ください。
- コロナウィルス感染防止対策については、入塾後、ご連絡いたします。
- 開催日程、時間、会場については、変更する場合がございますので、予めご了承願います。

■ お問い合わせ

愛知県環境局資源循環推進課
(循環グループ)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話: (052) 954-6233(ダイヤルイン)
E-mail: junkan@pref.aichi.lg.jp

■ お問い合わせ・お申込み

公益財団法人名古屋産業科学研究所
中部ハイテクセンター(CHC)

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目10番19号
電話: (052) 223-6639
E-mail: kankyojuku@nisri.jp
URL: <https://www.nisri.jp/chc/gathering.html>

環境大臣賞受賞 (2020年度持続可能な社会づくり活動表彰)

持続可能な社会づくりの人材育成塾

あいち環境塾

2021年度

AICHI ENVIRONMENT JOB SCHOOL

環境と愛知の未来を共に考える



著名な講師陣と直接ディスカッションができます!

主催: 愛知県、(公財)名古屋産業科学研究所

あいち環境塾 検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

●開講の趣旨



愛知県知事
大村 秀章

経済活動や日常生活による環境への負荷の増大や天然資源の枯渇などが懸念される今日、社会全体の仕組みを見直し、持続可能な社会を形成していくことが私たちの重要な課題となっています。

私たちの求める持続可能な社会は、環境と産業と暮らしが調和するとともに、快適かつ安心であり続けることのできる社会であり、そのためには、地域の住民や企業、行政などが協働して社会の仕組みを創り変えていくことが求められます。

本県は、モノづくりの地域として様々な産業技術の集積が存在すると同時に、我が国有数の農業県であり、さらには豊かな海や森林が広がるなど、多種多様な資源を持つ地域です。持続可能な社会づくりは、これらの「資源」を大いに活用して進めていくことが必要ですが、そのためには、「ビジョン」と「こころざし」を持つ人材を育成する

ことが何よりも大切です。

こうした考えのもと、本県では、企業や大学、行政などといった様々な分野において、環境を基調とした地域づくりのリーダーの育成を目指して「あいち環境塾」を開講しております。

この「あいち環境塾」では、講師陣に環境分野で活躍する研究者、指導者を迎えています。そして、講義に加え、講師も加わった討論や合宿などを通して、互いに切磋琢磨し、目標を共有する仲間づくりができるようなクリエイティブな場とすることを目指しています。

本県で、環境、産業、暮らしにおける持続可能性が高まり、さらにより良い地域へと生まれ変わっていくために、そして我が国全体を持続可能な社会としていくために、「あいち環境塾」への皆様のご参加をお待ちします。

2021年3月

●あいち環境塾の特色

1 「環境」を多角的に学び、「統合」をめざす「塾」

企業の取組であっても、行政の取組であっても、環境のプロジェクトを実現し成功させていくためには、地球環境や社会全体に与える影響を考えることが必要です。環境に一人勝ちはありません。良いプロジェクトを企画するためには、企画者自身が環境について様々な視点から多角的に学び、それらを統合して、利害関係者に働きかける、大きな発想が求められます。「あいち環境塾」は、このような「統合」をしていただけのような場を目指しています。

2 こころざしを持った人材が集う「塾」

「あいち環境塾」は、企業や大学、行政などで「環境」の実務や研究に携わり、持続可能な社会づくりの「こころざし」を持つ方が集い、自らが積極的に学び、意見を交わすことを通じて、互いの視野を広げ、分野を越えた協働の可能性を発見する、交流の場となることを目指しています。

3 各分野の第一人者と対話できる「塾」

「あいち環境塾」の講師陣には、エネルギー、環境技術、資源循環、環境ビジネスなど、関連分野における我が国を代表する第一人者を招聘します。参加者は、講義を受けるだけでなく、丸一日、講師と時間を共にして意見を交わし、理解を深めることができます。

4 ビジネスモデルや政策の提言に向けたチーム活動

塾期間中を通して、チームで「20年後の未来社会へ向けての環境に関する政策やビジネスモデル」づくりに取り組んでいただきます。最終日には、チームごとに政策やビジネスモデルに関する研究成果を愛知県に発表していただきます。塾生の相談役として、大学の研究者を中心とした「アドバイザー講師」が毎回出席し、塾生の皆様をサポートします。

5 修了の成果

卒塾生は、塾で学んだ環境に関する知識を生かし、職場改善や地域での環境活動に取り組んでいます。また、塾生同士、アドバイザー講師、卒塾生、講師とのネットワークが築かれるのも「塾」の目的であり、そのネットワークが卒塾後の活動に生かされています。卒塾生や地域社会を創る人たちの活動の場として、卒塾生等が中心となりNPO法人AKI環境総合研究所を設立し、2014年度から活動しています。



著名な講師による講義



講師との懇談



チーム活動

●あいち環境塾のメンバー

塾長



愛知県知事
青山 桂子

顧問



（公財）名古屋産業科学研究所
理事
愛知工業大学
工学部
教授
鈴置 保雄

プログラム・コーディネーター



愛知工業大学
総合技術研究所
教授
近藤 元博氏

プログラム・マネージャー



名古屋大学
大学院工学研究科
准教授
小林 敬幸氏

●講師陣

コロナ禍の先の再生のためのSDGs



慶應義塾大学
大学院政策・メディア研究科
教授
菅江 憲史氏

日本のエネルギー戦略とカーボンニュートラル



東京工業大学
特命教授・名誉教授
技術創成研究院
先進エネルギー
ソリューション研究センター長
柏木 孝夫氏

資源循環と社会



専攻大学
情報連携学部
情報連携学科
教授
後藤 尚弘氏

環境分野でオープンイノベーションを目指す



神戸大学
大学院科学技術
イノベーション研究科
教授
尾崎 弘之氏

国際的な環境問題にどう対処するか



東京大学
未来ビジョン研究センター
教授
高村 ゆかり氏

水と気候変動



東京大学
大学院工学系研究科
教授
沖 大幹氏

自然の恵みはタダなのか？



京都大学
大学院農学研究科
教授
栗山 浩一氏

人類は生態系サービスに支えられている



東京都市大学
特別教授
瀧井 史郎氏
(雅之)

環境活動は日本社会に何をもたらしたか



中部大学
総合工学研究所
特任教授
武田 邦彦氏

環境ってなんだ？
—メディアから



中日新聞社
論説委員
飯尾 歩氏



あいち環境塾の取組が、「2020年度持続可能な社会づくり活動表彰」(主催:公益社団法人環境生活文化機構、後援:環境省)において、環境大臣賞を受賞しました。

●アドバイザー講師陣

「あいち環境塾」では、塾生の皆さんの相談役として、若手研究者の先生方を中心に「アドバイザー講師陣」を依頼しています。アドバイザー講師陣は、すべての講座に出席して、塾生をサポートします。

リーダー	奥岡 桂次郎	岐阜大学 Coデザイン研究センター 准教授
サブリーダー	入澤 寿平	名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 助教
ファシリテーションリーダー	谷川 彩月	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科 助教
	今中 政輝	名古屋大学 未来材料・システム研究所 寄附研究部門 助教
	薄井 智貴	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科 教授
	小谷 博光	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科 助教
	神本 祐樹	名古屋大学 未来社会創造機構 マテリアルイノベーション研究所 准教授
	川口 暢子	玉野総合コンサルタント株式会社
	窪田 光宏	名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 助教

杉山 範子	名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的発展教育研究センター 特任准教授
鈴木 英司	あいち環境塾11期生 愛知海運株式会社 事業戦略室課長
武田 美恵	愛知工業大学 工学部 建築学科 准教授
東海林 孝幸	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 講師
西田 美紀	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科 助教
羽田 裕	愛知工業大学 経営学部経営学科 経営情報システム専攻 准教授
古川 陽輝	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻 助教
町田 洋	名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 助教
山根 卓二	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科 教授

日	時間	内容	場所
第1日 6月5日(土)	9:30-10:15	開講式	名古屋商工会議所 5階 B・C会議室
	10:15-11:20	連絡、プログラムコーディネーター説明	
	11:20-12:10	Web講義の紹介	
	12:10-13:00	昼食	
	13:00-14:20	基礎講座 愛知の環境	
	14:30-16:30	基礎講座ファシリテーション 相模女子大学 九里 教授	
	16:35-18:30	オリエンテーション、自己紹介、ワールドカフェ	
19:00-21:00	入塾懇親会		
第2日 6月19日(土)	10:00-12:40	講義Ⅰ コロナ禍の先の再生のためのSDGs 慶応義塾大学 蟹江 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-17:30	基礎講座 エネルギー 名古屋大学 小林 准教授	
	17:40-18:30	チーム分け	
第3日 7月3日(土)	10:00-12:40	講義Ⅱ 日本のエネルギー戦略とカーボンニュートラル 東京工業大学 柏木 特命教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第4日 7月17日(土)	10:00-12:40	講義Ⅲ 資源循環と社会 東洋大学 後藤 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第5日 7月31日(土)	10:00-12:40	講義Ⅳ 環境分野でオープンイノベーションを目指す 神戸大学 尾崎 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第6日 8月21日(土)	10:00-12:40	講義Ⅴ 国際的な環境問題にどう対処するか 東京大学 高村 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	

日	時間	内容	場所
第7日 9月4日(土)	10:00-12:40	講義Ⅵ 水と気候変動 東京大学 沖 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:00	中間発表会	
	18:30-20:30	意見交換会(懇親会)	
第8日 9月18日(土)	9:30-11:00	企業講演会 SDGs 一般社団法人 中部SDGs推進センター 戸成 代表理事	未定
	11:10-12:40	企業講演会 ESG 株式会社 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 江夏 研究センター長	
	12:40-13:30	昼食	
	13:30-16:00	現地現物、卒塾生活動	
	16:10-17:10	卒塾生との懇談会	
	17:20-18:30	AKJ活動紹介	
第9日 10月2日(土)	10:00-12:40	講義Ⅶ 自然の恵みはタダなのか? 京都大学 栗山 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第10日 10月16日(土)	10:00-12:40	講義Ⅷ 人類は生態系サービスに支えられている 東京都市大学 涌井 特別教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第11日 10月31日(日)	10:00-12:40	講義Ⅸ 環境活動は日本社会に何をもたらしたか 中部大学 武田 特任教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第12日 11月13日(土)	10:00-12:40	講義Ⅹ 環境ってなんだろう?—メディアから 中日新聞社 飯尾 論説委員	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第13日 11月27日(土)	9:30-12:00	テーマのまとめ・発表準備・発表練習	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-14:30	テーマのまとめ・発表準備・発表練習	
	14:30-17:00	発表会	
	17:10-17:40	修了式	
	18:00-20:00	交流会	

※日程、時間、会場については、変更する場合がございますので、予めご了承願います。